

## 2024年度 第3期 オンライン研修・講習会のお知らせ

一般社団法人日本音楽療法学会  
研修・講習委員会

2024年度 第3期 オンライン研修・講習会は、**新作3講座**、**再配信2講座**をご視聴いただけます。

2024年11月1日（金）正午～2025年1月31日（金）午後11時59分まで視聴することができます。

動画の視聴申込は 2024年11月1日（金）正午より、マイページにて行ってください。

視聴申込、ご入金のご最終受付は2025年1月28日（火）までです。

### □ 2024・第3期 - 新作1

#### 基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・脳科学

タイトル	認知症になっても変わらない力、高められる力 ～脳科学から見た認知症～
内容	認知症には専門家でもまだまだ多くの偏見があります。私自身、認知症が「進行性」と言われていることで、2015年に母が認知症と診断された頃は、「ずっと一緒に生きてきた母親が、本当に母親でなくなってしまうのだろうか？」などと不安に思っておりました。しかしその後、母と一緒に暮らした8年間で、そんなことはまったくないのだということを知っていくことになりました。正確に脳のどこにどのくらい変化が起こるのかを確認しながら、認知症のある人に残る力を検討したいと思います。母はピアノの先生でしたので、音楽が母に与えた影響、音楽療法が母や私に与えてくれた希望をお話できればと思います。
講師名	恩蔵絢子
プロフィール	脳科学者。2007年東京工業大学大学院後期博士課程修了(学術博士)。2024年現在、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りがたがるのか』、対談本に『認知症介護のリアル』などがある。2015年に同居する母親がアルツハイマー型認知症と診断され、娘として脳科学者として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。2023年1月には母親との家での時間に密着したドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映された。

### □ 2024・第3期 - 新作2

#### 基本に戻る～対象者理解・様々な角度から～・応用行動分析学

タイトル	「ハッピーに生きる方法」を探すための科学 －音楽療法士のためのABA（応用行動分析学）－
内容	この講義の目標は、受講する皆さんに、次のような変化をもたらすことです。 ・より楽しく音楽療法の仕事に向かえるようになる ・より柔軟に考えられるようになる ・苦手な人とも楽しくかかわれるようになる ・人間関係で生ずる「全ての現象」と適度な距離をとって冷静に受け止められるようになる ここで役立つのが「ABA（Applied Behavior Analysis、応用行動分析学）」という学問です。 ABAは心理学の学派の一つで、「科学的であること」と「確実に対象者の助けになること」を大事にし

	<p>ており、対人援助の実践と研究の両面で、膨大な実績があります。</p> <p>ABA は「対象者がハッピーに生きられるようになる」ことを目指し、「ハッピーでない状態にある人」がいたら、その理由と解決方法を具体的に考え、支援にあたります。対象者のハッピーを目指すためには、職場の同僚、友人、家族、そして音楽療法士自身がハッピーである必要があります。そのための「具体的方法」を導き出すことができる科学—それが ABA なのです。</p> <p>みんなが楽しくハッピーに生きるための「科学的な方法」を、受講する皆さんと一緒に学びたいと思います！</p>
・講師名 / プロフィール	<p>・二俣泉 / 国立音楽大学器楽学科（ヴァイオリン専攻）卒、国立音楽大学大学院修士課程（音楽教育学専攻）修了、筑波大学大学院修士課程（障害児教育専攻）修了、ノードフ・ロビンズ音楽療法オーストラリア卒。日本大学芸術学部助手、東邦音楽大学准教授等を経て現在、昭和音楽大学教授。著書：音楽療法士のための ABA 入門（共著、春秋社）、新訂増補版・音楽療法をまなぶ（共著、アカデミア・ミュージック）ほか。</p> <p>・木下容子 / 洗足学園音楽大学（音楽教育専攻）卒、同大学附属音楽療法士資格取得準備講座修了、東京学芸大学大学院教育学研究科特別支援教育専攻（支援方法コース）修了。精神科病院、高齢者施設、グループホーム、就労継続支援事業所、放課後等デイサービスなどの現場での音楽療法実践を経て、現在、東邦音楽大学准教授。学会認定音楽療法士。</p>

### □ 2024・第3期 - 新作3

タイトル	日本の音楽療法に期待すること
内容	<p>音楽療法士ではない私が、50年間、およそ半世紀にわたって見聞きたり感じたりしたことから、「こうあってほしい」と望むことを解りやすくお話してみました。</p> <p>音楽療法との出会いは1972年のサンフランシスコ。その後、ノードフ&amp;ロビンズの本部ロンドンにも足を運び、日野原重明先生と日本での音楽療法を見つめてきました。日本ではまだ音楽療法への理解が無かった80年代は、ニューエイジ・ブームで、宮下富実夫さんや喜多郎さんといった方々のヒーリング・ミュージックに注目が集まったりした頃もあり、そこからさらに40年。</p> <p>時代の変化と共に、音楽療法に求められることもまた変化し、音楽そのものへの理解も進んでいます。</p>
講師名	湯川れい子
プロフィール	<p>音楽評論家・作詞家。</p> <p>60年代からエルヴィス・プレスリーやビートルズ、などの解説をはじめ、70年代からは音楽療法について勉強。ポップスの評論・解説及びラジオのDJを手がける。また作詞家としても活躍。代表作には『ランナウェイ』『センチメンタル・ジャーニー』『六本木心中』『恋におちて』などがある。また近年では、環境問題などを含め、次世代の育成にも力を注いでいる。</p>

再配信講座は、次ページになります。

※今回の再配信講座について

**・2 講座ともに、倫理・知的財産権についての基礎講座です。2 講座セットでの視聴を推奨します。**

今回の再配信 2 講座は、2023 年 11 月 25 日に、当学会がオンラインにて実施した「倫理・知的財産権基礎講座」の再配信となります。その際にご参加いただいた方も、お申し込いただければご視聴可能です。

□ **2024・第 3 期 - 再配信 1 (2023/11/25 配信分)**

タイトル	倫理講座
内容	倫理綱領および倫理ハンドブックを題材にした講座
講師名	村林 信行
プロフィール	医療法人社団信俊会 心療内科アーツクリニック大崎院長

※ご視聴いただくにあたっては、当学会発行テキスト：『日本音楽療法学会 倫理ハンドブック』をご用意ください

□ **2024・第 3 期 - 再配信 2 (2023/11/25 配信分)**

タイトル	知的財産権講座
内容	著作権を含む音楽療法士として必要な知的財産基本法、知的財産権の知識習得のための講座
講師名	延増 拓郎
プロフィール	石嵯・山中総合法律事務所 代表弁護士